

<里山ハイク同好会報告>

紅葉の小谷城跡散策

令和元年 11 月 28 日 (木)

小谷城は浅井長政の居城で 1573 年信長により落城した。この時長政夫人のお市が信長の妹であったので 3 人の娘を連れて脱出させた。その後長女は淀 (豊臣秀頼)、次女は初 (京極高次)、三女 (徳川秀忠) は夫々カッコ内の夫人となったのは周知のことです。

J R 草津駅に 8:10 集合して河毛駅に 9:17 に着。駅からタクシーで小谷城址中腹の番所跡まで登るが、麓の車道の両側の真っ赤な紅葉が見事でした。

番所跡より山道に入る。周りには赤く染まったモミジが多く、紅葉の真っ盛りでした。

10 分ほどで展望所に出る。眼下に虎御前山がポッカリ見える。小谷城攻めの際信長が陣を構えたところだ。ここも紅葉のまだら模様が美しい。さらにお茶屋跡を通り馬洗い池のあるかなり広い御馬屋敷跡に出る。中腹に馬小屋があるので本丸までは馬で行っていたと思われる。道なりに桜の馬場跡、大広間跡を行き、本丸跡に出る。手前に石垣のあとが残っている。安土城などに石を取られてわずかの痕跡しかない。それぞれの屋敷跡の周りのモミジの赤が素晴らしい。この北側の大堀切が頂上の大嶽城 (おおつぐじょう) の防衛線になっている。ここから一旦下ってから六坊跡を過ぎ 2 段の丸太の長い急階段を登り切った所が頂上の大嶽城址でした。

風が強く曇りであったので中央のくぼ地で昼食を取る。帰りはもと来た道に戻ったが、尾根に沿って台地が作られておりその面積もまとめるとかなりの広さがあり信長が攻めるに手こずるくらいの軍勢は十分いたと思われた。

屋敷跡の周りのモミジばかりでなく番所跡から真柄峠を下った追っ手道でもきれいでした。最後に戦国ステーション戻り、さらに 10 分ほどのところにある戦国歴史資料館を見学して再びタクシーで河毛駅に戻った。4 時間ほどの紅葉を十分楽しめたハイキングでした。

記 高山雅史





2019/11/28 13:16



2019/11/28 13:14



2019/11/28 12:45



2019/11/28 10:11



虎御前山

2019/11/28 11:15



戦国ステーション

2019/11/28 13:28